

ぶらり

奥州散歩道

Vol. 30

徳水園と円筒分水工

(胆沢区若柳字上土橋・下堰袋)



①取水水量が多い4月下旬から5月は雄大かつ美しい姿を見せる円筒分水工②この時期は涼を求める市民の憩いの場になる徳水園③寿安堰・茂井羅堰を開いた先人の記念碑④水路の歴史を学べる水の歴史記念公園

濃

緑の葉が茂る木々の中に水が流れ落ちる涼しげな音がこだまするのは、胆沢区若柳の国道397号沿いにある徳水園です。水が流れる音は北側を流れる胆沢川ではなく、農業用水を分配する施設である円筒分水工から聞こえてくるものです。この2つの施設は、胆沢平野土地改良区(及川正和理事長)が管理し、胆沢平野開発のシンボルにもなっています。

円筒分水工は、石淵ダム(昭和28年完成)の貯水を活用する国営事業として、32年に完成しました。古くから胆沢平野を潤してきた「茂井羅堰」「寿安堰」の2大幹線水路は、それぞれ胆沢川から直接取水していたため、双方の住民による水争いが絶えませんでした。導水管などを通してダムから水を引き、常時両堰に公平に分配する円筒分水工の完成で、血を流すような水争

いが解消したのです。

上から見ると直径24メートル(完成当時は18メートル)の円形で、日本最大級といわれています。平成7年の大規模な改修工事を経て現在の大きさになりました。構造自体と自然流下する水の力により、寿安堰に6割、茂井羅堰に4割流れるようになっていました。徳水園は、円筒分水工の完成を祝う記念庭園として造られました(昭和36年完成)。園内には茂井羅堰を開削したとされる北郷茂井羅、寿安堰を開削した後藤寿安、千田左馬、遠藤大学らを顕彰する記念碑が合祀されています。平成元年には、旧胆沢町が敷地を借用してポケットパークとして再整備。円筒分水工西側に新たに整備された水の歴史記念公園と合わせ、住民の憩いの場となっています。

◇問い合わせ◇胆沢平野土地改良区(☎0171)へ



家族を守る、激震に耐える強い家

震度7に耐える丈夫な家が、あなたの家族と財産を守ります。

丈夫で長持ち

信頼の施工・品質



松下電工の住宅工法
テクノストラクチャー
全棟構造計算書付!

木造住宅の常識を超える「新工法」。

木の温もりと鉄骨の強さを併せ持つオリジナル複合梁と接合金具を使用し、邸別に構造計算を行うことで、いつまでも安全で安心できる家を提供いたします。

高惣建設株式会社 〒023-0829 奥州市水沢区花園町一丁目1番7号
TEL:0197-22-3111 FAX:0197-22-3120

お問合せ
ご相談は

☎0120-516-812
<http://www.takasou.net/>